

センター通信

スクールカウンセラーの新しい仕事



兵庫県教育委員会・伊丹市教育委員会
スクールカウンセラー 福島 美由紀

スクールカウンセラーが誕生して24年になりました。伊丹市では各小中高等学校に1人ずつ配置されています。スクールカウンセラーには、臨床心理士資格を持っている人(今年度より、公認心理師という国家資格が優先されるようになりました)・大学関係者・精神科医がなることができます。週に1日だけの勤務なので、相談はだいたい予約制になっています。子どもはもちろん、保護者や教職員も利用することができます。

相談内容は、不登校・いじめ・友人関係・家庭の問題・心身の健康・学業・進路・発達障害等、悩みごとなら大抵のことは相談することができます。単発の相談もありますが、大抵は継続して利用していただきます。それは、問題が複雑なことが多いので、1回では解決しないからです。

不登校の原因やきっかけは様々で、全国的に見ても増加傾向でなかなか減りませんし、いじめでは、関与する子どもが複数になる場合が多く、関係が複雑になり解決は困難を極めます。また、虐待にいたっては、長年継続して行われていたり、保護者の自覚がない場合もあつたりするので、関係機関との連携なくしては解決は見ません。と書けば、ご想像がつくように、大変難しい問題ばかり扱うのに、スクールカウンセラーが学校に1人、しかも週に1回しかいないのでは、効果が薄い感じがしているのが実のところです。

不登校・いじめ・虐待・うつ等の問題を解決していくためのスクールカウンセラーの新しい仕事が、「心理健康教育」ではないかと考えます。20年前から、教職員への「カウンセリングマインド研修」が義務化され、最近では年に2回は先生方への研修として行わせていただいています。それに加え、2年前より、保護者や子ども達へも心理学の知見を伝える講習会や教育プログラムが必須になりました。心理学の知識や情報を持っているだけでも病気や問題行動の予防につながります。

子ども達の健全な成長こそ、日本の未来を保証します。病気にならないように、孤独にならないように、罪を犯さないように、一人一人を大切に育てていかないとはいけません。長所や個性を伸ばしていくのは教育者の仕事ですが、底上げをしていくのは心理師(士)はじめ福祉・医療従事者の仕事と考えます。「チーム学校」が文部科学省から打ち出された今、一専門家として、学校に携わる心ある大人達と連携しながら、「一人一人を大切にすること」を根本に、今後も新しい貢献をしていきたいと考えています。

11月は『子供・若者育成支援強調月間』

内閣府は、全ての子供・若者が健やかに成長し自立・活躍できる社会の実現を目指すためには、子供・若者を孤立させず地域住民一人一人が参加し地域全体で支えていく社会を築くことが重要であるとし、11月に育成支援の諸事業・諸活動を集中的に実施しています。

少年愛護センターでも、この期間中に次のような取り組みを行っています。

- ◇阪急伊丹駅、JR伊丹駅前に横断幕掲示
- ◇有害図書類の販売等に関する環境実態調査
- ◇「伊丹市青少年を守る店」の拡大運動
- ◇青少年の健全育成に関する研修会

市民の皆様には子供たちの見守り・声かけをよろしくお願いいたします。

伊丹市青少年を守る店連絡協議会 『量販店部会研修会』

10月24日（木）に、伊丹市青少年を守る店連絡協議会の量販店部会研修会を実施しました。

第1部は、伊丹市立北中学校生徒指導担当の藤森雄大教諭より生徒指導の取り組みについて実践発表がありました。

いじめ防止のための、道徳の授業を基にした話し合い活動、毎月のアンケートや各種調査、教育相談週間、計画的な教職員研修等について、また、生徒が生き生きと学校生活を送れるよう不登校の未然防止や校則の見直しについての発表がありました。

どの取り組みも大人からの一方的な指導ではなく、「生徒と協同で」を大切に進めており効果をあげているとのことでした。

第2部は、イオンスタイル伊丹保安担当の平井英樹氏に「イオンスタイル伊丹における少年の現状」と題して講話をしていただきました。

以前に比べると店内での迷惑行為はほとんどなく

なったが、方引きやゲームコーナーでの子ども同士のトラブルは時々あるそうです。また、気になることとして最近の自転車マナーの悪さを指摘されました。

少年補導委員の街頭補導でも、大人の自転車マナー（無灯火、信号無視）が問題になっています。子どもの手本となるよう、大人がしっかりルールを守っていきましょう。

◆街頭補導件数 暫定値《令和元年10月》

	幼小	中	高他	大人	計
声かけ・会話等	584	78	35	200	897
あいさつ	1,420	299	108	593	2,420
遊びに関する	7	4	0	0	11
ぐ犯・不良行為	0	0	0	0	0
交通に関して	4	2	22	49	77
計	11	6	22	49	88

◆有害図書類回収状況 《令和元年10月》

	数量	前月比	累計
有害図書	137	26	3,131
有害DVD等	253	-41	
計	390	-15	

白ポスト設置場所（市内16カ所）

バラ公園バス停	北センター前	西桑津バス停	荒牧バス停
女性児童センター	南センター前	いたみホール	裁判所前
阪急新伊丹駅前	阪急稲野駅前	阪急伊丹駅前	中野西公園
JR北伊丹駅駐輪場	JR伊丹駅1階	山田バス停	車塚公園内

◆電話・来所相談件数 《令和元年10月》

	件数	前月比	累計
電話相談	5	-2	67
来所相談	2	+2	10

《子どもと保護者のなやみの相談》

◇電話相談（TEL 770-8742）

月・火・木・金曜/10:00~19:00

水曜/10:00~17:30 土曜/13:00~17:00

◇来所相談（TEL 780-3540 要予約）

平日/10:00~17:00

◆10月の事案（少年愛護センターへの通報・ひょうご防犯ネット） ☆：その後解決

日	時	場所	種類	内容
2	17:00	南鈴原2 路上	不審者	男子児童に対して、頭を押す。
8	16:20	瑞穂町6 路上	不審者	男子児童に対して、スマホを向けて無断撮影する。
9	17:30	市内公園	暴行	男子児童に対して、「こら。」と声をかけ背中を叩く。 ☆
11	7:50	西台1 路上	無断撮影	女子学生に対して、携帯電話を向けて撮影する素振りをする。
15	13:18	南鈴原4 路上	不審者	成人女性に対して、拳を振り上げる素振りをする。
15	5:50	御願塚5 路上	不審者	女子生徒に対して、じろじろ見るなどした後付近をうろつく。
18	18:33	荒牧1 路上	無断撮影	成人女性に対して、スカートの下からスマホを差し入れ撮影する。

上記以外に、児童生徒に対して「可愛い子がいる」「遊ばないか」などと声をかける事案が2日（北野6）、3日（南野北5）、5日（野間7）、11日（荒牧5、瑞穂町3）、16日（昆陽6）、22日（鴻池3）にありました。また、露出事案が27日（北伊丹7）、28日（平松2）にありました。

11月の主な行事

- 7日（木）伊丹市少年補導委員連合会役員会・定例理事会
- 8日（金）市内広報・一斉補導
- 11日（月）伊丹市青少年健全育成研修会
- 12日（火）伊丹市少年進路相談員連絡会
- 18日（月）伊丹市少年補導委員実務研修会
- 20日（水）伊丹市少年補導委員管外研修
- 21日（木）

- 22日（金）兵庫県青少年補導センター所長・会長一日研修会
- 25日（月）有害図書回収

<第2回学校補導連絡会>

- 15日（金）西中 18日（月）天王寺川中
- 19日（火）東中

～11月は「子供・若者育成支援強調月間」です～

※「センター通信」へのご意見ご感想を、伊丹市立少年愛護センター（Tel:780-3540）までお寄せください。